



アルミ溶解保持炉 LCM SERIES

省清掃

CO₂削減



LCM炉 誕生について

弊社は長年に渡り、DC業界にアルミ溶解炉を提供してまいりました。

お客様が求める溶解炉とはどのようなものかを常に自問自答、辿り着いたのが

1. 燃費が良い
2. 酸化物が発生しにくい
3. メンテナンス性が良い
4. 長寿命
5. 適正な価格帯である

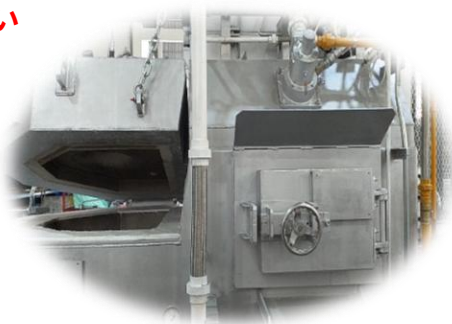
という事でした。また、電気供給不安による停電リスクや電気料金

増大に対しヒーター方式を断念されているお客様に対し、従来の

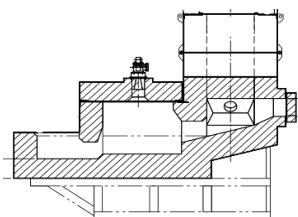
溶解:バーナー 保持:バーナー から何か進化できないか考えた

結果、保持室及びバーナーのコンセプトを変える事で、省エネ・CO₂減を

実現する事が出来ました。

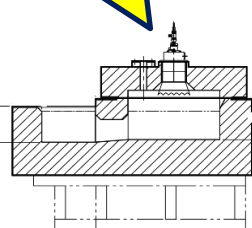


-SER炉とLCM炉の比較と特徴-

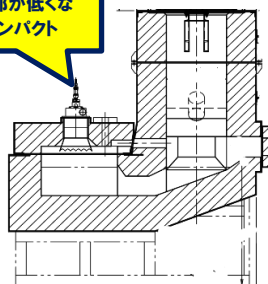


SER

溶湯への直接加熱
方式から間接加熱
方式にし、溶湯酸
化抑制



主な特徴として、保
持室天井部が低くな
り非常にコンパクト



LCM

-仕様-

- 燃料
ガス (LPG/LNG)
- 溶解スピード
150~700 [kg/h]
- 保持容量
600~2,000 [kg]

比較情報	SER-150	LCM-150
溶解スピード	150 [kg/h]	150 [kg/h]
保持容量	600 [kg]	600 [kg]
ガス種	LNG	LNG
溶解保持燃費	14 [m3]	11.7 [m3]
差	2.3 [m3]	
%	16.4%	
CO ₂ 排出 (tCO ₂ /t)	0.0767	0.0641